

報 告

昭和五十九年度大会の概況 日本思想史学会昭和六十年年度大会は、十月二十六日(土)・十月二十七日(日)の二日間にわたり、岩手大学を会場として開催された。

第一日は、主題講演が行われた。講演者と演題は次の通りである。  
「中国文化と日本文化」

大阪大学 教授 子安宣邦氏  
東海大学 教授 石田一良氏  
東北大学 名誉教授

講演終了後、総会が行われ、事務局より昭和五十九年事業報告および決算報告がなされ、それぞれ承認された。続いて事務局より昭和六十年年度事業計画および予算案が提案され、審議の結果、それぞれ事務局案通り決定された。

引き続き、盛岡市郊外篤宿温泉鶯山荘において懇親会が催された。

第二日は、研究発表が行われた。発表者は次の諸氏である。

昭和薬科大学 古田武彦  
ノートルダム清心女子大学 八重樫直比古  
仙台工業高等学校 加藤健一

1、記紀神話と万葉集 — 「大王之遠乃朝廷」論 —

宇賀神 藤原健一  
宇佐 佐藤寛

2、『金光明最勝王経』の受容 — 『統日本紀』神護景雲三年十月一日条の場合 — 補訂

関西大学 大学院 前田 勉  
東北大学 大学院 立花 均  
久留米工業大学 田尻 祐一

3、空海・道元の自然観

皇学館大学 大学院 松浦 光孝  
松浦 光孝  
松浦 俊修

4、神道にみる元神觀念の推移

筑波大学 大学院 中野 徹  
中山 孝

5、藤原惺窩の思惟構造

青山学院 大学 小野 信  
青山 宗

6、『山鹿随筆』 「吉利支丹対策」について

東京大学 大学院 石井 真  
東京 真

7、山鹿素行の職分主義と朱子学批判

若尾 政  
若尾 希

8、近世前期の朱子学と「文公家礼」

神奈川大学 大学院 小川 栄  
神奈川 栄

9、大國隆正と『氣吹舎門人帳』

皇学館大学 大学院 松浦 光孝  
松浦 光孝

10、横井小楠 『癸丑黒船』前夜までの自由主義的思惟の萌芽の形成過程

筑波大学 大学院 中野 徹  
中山 孝

11、森有礼における「文明」と宗教

筑波大学 大学院 中野 徹  
中山 孝

12、内村鑑三とその弟子たち

筑波大学 大学院 中野 徹  
中山 孝

13、平泉澄博士の天皇

筑波大学 大学院 中野 徹  
中山 孝

14、井原西鶴の倫理思想

筑波大学 大学院 中野 徹  
中山 孝

15、安藤昌益の「自然ノ真道」の形成

筑波大学 大学院 中野 徹  
中山 孝

16、良寛の思想における表と裏

筑波大学 大学院 中野 徹  
中山 孝

17、近世の床と床の間

筑波大学 大学院 中野 徹  
中山 孝